

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	30,980千円	32,154千円	30,673千円	0千円
	総人件費	7,455千円	7,482千円	14,910千円	
	総事業コスト	38,435千円	39,636千円	45,583千円	

部等名	課等名	係等名
政策イノベーション部	つくばイノベーションプラザ	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	31	つくばイノベーションプラザに要する経費

事務事業名	01	つくばイノベーションプラザ管理・運営事業	指標名	つくばイノベーションプラザ来館者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	つくばサイエンス・インフォメーションセンターへの来館者の1年間の総数及びH28.4つくばイノベーションプラザ来訪者数を参考に計算。										
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	40,000人	42,000人	25,000人	26,000人	27,000人	28,000人	28,000人		
総合戦略	-	-	-	-	-	実績	42,238人	42,799人	28,197人														
個別計画	-	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	なし								
根拠法令等	つくばイノベーションプラザ条例				改善目標	・インフォメーション機能を「つくば総合インフォメーションセンター」に移管する。 ・「つくばイノベーションプラザ」に改変し、筑波研究学園都市における研究開発の成果の活用及びこれによるイノベーションの創出を支援していくとともに、会議室の貸出を継続する。				改善目標	イノベーションの創出や支援を念頭に、どのような形で運営することが良いか検討しながら取り進めたい。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初				
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業計画	イノベーションの創出等の支援 研究者等の連携又は交流の推進 外国人に対する情報の提供 筑波研究学園都市に関する問合せに対する情報の提供 施設及び附属施設の提供				事業計画	イノベーションの創出支援、研究者等の連携及び交流の推進、外国人に対する情報の提供、施設及び附属施設の提供(貸館)等				事業費(A)	30,980千円	32,154千円	30,673千円	0千円				
執行体制	一部委託				活動実績	会議室利用者 12,307人 利用団体者数 504件 来訪者数5,272名であり、イノベーションについての創出や支援及び附属施設の提供(貸館)を行った。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	・試験研究機関等が集積する我が国最大規模の筑波研究学園都市に関する情報を発信するため ・筑波学園都市における研究開発の成果の活用及びこれによるイノベーションの創出を支援し、もって科学技術及び産業の振興、国際化の推進に資するため				成果	イノベーションの創出や支援を念頭に、利用者等は順調に推移している。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の概要	市内に集積する試験研究機関の科学技術に係る情報を来館者に提供するため 市勢情報を来館者に提供するため 来館外国人に情報を提供するため 広く来館者に交流サロン及び会議室を提供するため 研究者の連携又は推進の場を提供するため				課題	イノベーションの創出や支援との相違団体の利用が少なからずあるので、今後の運営の在り方について検討の必要性が見込まれる。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	5,371千円	4,840千円	7,999千円	0千円						
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-		一般財源	25,609千円	27,314千円	22,674千円	0千円						
						効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-		人件費(B)	7,455千円	7,482千円	14,910千円							
						総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-		正職員	1.00人	1.00人	2.00人							
													時間外勤務	10.00時間	20.00時間	20.00時間							
													臨時職員等	有	有	有							
													事業コスト(A+B)	38,435千円	39,636千円	45,583千円							
													H30年度当初積算根拠										
													H30年度の方向性	-	理由	-							